

用語解説

※本文中に「*」を記した語句を解説しています。

「*」は、各章で最初にこれらの語句を使用した箇所に記しています。(ただし、全章共通の語句は本文中の「*」を省略)

語句	意味	章	ページ
----	----	---	-----

アルファベット順

BRT	Bus Rapid Transitの略で、連節バスの採用や専用走行空間の整備等により、路面電車と比較して遜色のない輸送力と機能を有するバスシステム。通常の路線バスと比べると、定時性に優れ、より多くの輸送量を確保できるのが特徴	1 6	6 46
ICT	情報処理及び情報通信に関連する諸分野における技術・産業・設備・サービスなどの総称 Information and Communication Technology (情報通信技術)の略	5 7	40 62
ITS	最先端の情報通信技術を用いて人と道路と車両とを情報でネットワーク化し、交通事故、渋滞などの解決を目的とする交通システム Intelligent Transport Systems (高度道路交通システム)の略	7	54
JETプログラム	語学指導を行う外国青年招致事業	5	42
MICE	Meeting (企業系会議)、Incentive (企業の報奨・研修旅行)、Convention (国際会議)、Exhibition/Event (展示会・イベント等)を総称した造語	7	56
SOHO	自宅や小規模な事務所で仕事をする独立自営型のワークスタイルあるいはその事務所 Small Office Home Officeの略	1	13

あいうえお順

アーツ カウンシル東京	公益財団法人東京都歴史文化財団にある組織であり、東京の芸術文化の創造・発信を推進し、東京の魅力を高めるための多様な事業を展開している。	4	34
アーティスト・ イン・レジデンス	国内外から新進若手芸術家等を一定期間招へいし、創作機会の場の提供や様々なジャンルの芸術家同士の交流などを支援する事業	4	37
アール・ ブリュット	フランス語で「生(き)の芸術」の意。フランスの画家ジャン・デュビュッフェにより提唱された「美術教育を受けていない人などが、既成の表現法にとらわれず自由に制作した作品」をいう。狭義には障害者の作品や芸術文化を指す。	4	34
アクセシビリティ・ ガイドライン	正式名称は「Tokyo2020アクセシビリティ・ガイドライン」 組織委員会が国際パラリンピック委員会の求めに応じて策定する、競技会場等の関係施設やそのアクセス経路と、情報発信・観客誘導等の大会運営に係るハード・ソフト両面のバリアフリー化の推進を目的とする東京2020大会用のガイドライン	1 5	6 40
エネルギー マネジメント	エネルギー供給や需要の状況を総合的に把握し、機器や設備の運転を効率的に行い、総合的に省エネルギーを実現すること	1	13

語句	意味	章	ページ
----	----	---	-----

キュレーター	美術館や博物館において、その施設が収集する資料に関する調査研究や、学芸員としての専門知識を活かした展覧会の企画等を行う人のこと	4	34
教育プログラム	オリンピック・パラリンピック開催に伴い、オリンピック・パラリンピックの価値や精神を学ぶ機会等を提供する教育的プログラムの総称。 組織委員会がプログラム全体を取りまとめ、国、東京都、その他関係機関等が実施する予定	3	27
交通情報カメラ 映像の画像解析	交差点に設置された交通情報カメラによる映像を画像解析して、交通量や渋滞状況、走行速度等の情報をデータ化し、信号制御に活用する。	7	62
サービス アパートメント	主に中長期の外国人滞在者を対象とし、フロント機能やリネンサービス等が付加された家具付き賃貸マンション	1	13
サービス付き 高齢者向け住宅	バリアフリー化され、安否確認サービス、緊急時対応サービス、生活相談サービス等の付いた住宅として都道府県等に登録された住宅	1	13
シティドレッシング	オリンピック・パラリンピック開催都市全体を一貫性のある外観で装飾すること	3	26
シェアサイクル	地域内の各所にサイクルポートと呼ばれる相互利用可能な駐輪場を設置し、利用者は好きな時に好きな場所(サイクルポート)で自転車を借りたり返却することができる自転車の共同利用サービス	1 6	6 50
遮熱性舗装	路面温度を上昇させる原因である赤外線を反射する遮熱材を路面の表面に塗布した舗装。舗装への蓄熱を防ぎ、路面温度の上昇を最大で8℃程度抑制する。	6	46
需要予測 信号制御	リアルタイム信号制御を高度化した信号制御。対象交差点において、上流の車両感知器の情報を基に到着する車両の交通需要を予測し、青時間を調整する信号制御	7	62
水素ステーション	燃料電池車に水素を供給するための施設。水素を外部から輸送して水素ステーションに貯蔵するオフサイト型と、都市ガスなどを改質してステーション内で水素を製造するオンサイト型がある。	1 6 7	13 46 62
スポーツクラスター	大規模スポーツ施設を中心とした様々な施設の集積	1	7
スポーツ祭東京 2013	2013年に東京都で開催された、「第68回国民体育大会」と「第13回全国障害者スポーツ大会」の大会愛称	2	22
スポーツ実施率	週1回以上スポーツ(競技スポーツだけでなく、健康づくりや気分転換など目的を持った身体活動の全て)を実施する成人の割合。都民のスポーツ実施率は60.5%(2014年現在)	2	21

語句	意味	章	ページ
スマート エネルギー都市	無理のない「賢い節電」を土台として、低炭素・快適性・防災力の3つを同時に実現する都市のエネルギー利用の将来像。「東京都省エネ・エネルギーマネジメント推進方針」(2012年5月 環境局)にて示された。	1 6	14 45
センター・コア・ エリア	おおむね首都高速中央環状線の内側のエリア	1	17
組織委員会	公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会を指す。	全	共通
大会関連 ボランティア	東京2020大会での、大会ボランティアと都市ボランティアを合せた総称	3 5	30 42
大会 ボランティア	競技会場、選手村などの大会関係会場及びその周辺で、競技運営、会場案内、輸送などの大会運営に従事するボランティア。東京2020大会では、組織委員会が募集・育成・運用を担う。	3	30
デジタル サイネージ	商業施設や交通機関、店頭、公共空間などで、ネットワークに接続したディスプレイで映像や情報を表示するシステム	7	58
トウキョウX	東京都畜産試験場(現、東京都農林総合研究センター)が作出した高品質系統豚	7	61
東京キャラバン	東京都が文化プログラムに先駆けて実施する「リーディングプロジェクト」のひとつであり、多種多様なアーティストや芸術が集い、屋外等で様々なパフォーマンスを繰り広げる新しい形の文化発信	4 8	35 64
東京都国際交流 委員会	地域の国際交流を推進する中核的組織として、総務省から認定を受けている団体。国際交流・国際協力等に関する情報を収集し、都民や在住外国人、関係団体に情報提供するとともに国際交流、国際協力、国際的な相互理解の促進等を行っている。	5	43
東京2020大会	2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の略称	全	共通
特定建築者制度	市街地再開発事業において施設建築物の建築等を施行者に代わり、民間事業者等を実施させることができる制度。この制度により、民間事業者の資金力とノウハウ等を積極的に活用できるようになり、より魅力的で処分性の高い建物を建築し、事業を円滑に推進することができる。	1	6
都市ボランティア	主要な空港やターミナル、観光地などで、国内外からの観戦・観光客への交通案内や観光案内に従事するボランティア。東京2020大会では、東京都が募集・育成・運用を担う。	3	30

語句	意味	章	ページ
燃料電池	水素と空気中の酸素を反応させ、直接電気へ変換して発電するシステムで、反応時に水しか排出しないためグリーンである。発電の際に発生する熱も給湯などに利用できるのでエネルギー効率が低い。燃料となる水素は都市ガスを改質するなどして製造される。	1 6 7	14 46 62
ファミトリップ	国際会議やイベント誘致のため、主催者等を対象に、会場となる施設や地域を視察してもらうために行う招待旅行	7	58
福祉のまちづくり サポーター	各区市町村において、主な活動内容、必要な資格等を定めて公募、選任した住民が、福祉のまちづくりの様々な施策について、行政と協働して主体的に参加、活動する仕組み	5	44
フラッグハンド オーバーセレモニー	オリンピック・パラリンピック閉会式において、次回開催都市にオリンピック旗・パラリンピック旗を引き継ぐセレモニー	3	27
「文化の杜」新構想	上野に集まる文化教育・学術機関が相互に連携・協力し、それぞれが保有する文化芸術資源等を活用し、上野「文化の杜」として東京の国際的な文化のシンボルとなることを目指したもの	4	37
文化プログラム	オリンピック憲章に定められた、オリンピック・パラリンピック開催に伴い実施する複数の文化的なイベントからなるプログラム。組織委員会がプログラム全体を取りまとめ、国や東京都などが実施する予定	3 4	27 33
報奨旅行	企業が、従業員や代理店等の表彰、研修、顧客の招待等の目的で実施する旅行	7	58
ボランティア 行動者率	過去1年間に、報酬を目的とせず、自分の労力・技術・時間を提供して地域社会や個人・団体の福祉増進のための活動を行った10歳以上の人の割合	3	30
マルチモビリティ ステーション	交通利便性の向上を目的として、幹線交通を担うBRTや域内交通を担うシェアサイクル等、様々な交通手段の結節点としての機能を有する施設	1	13
ユニバーサル デザイン	年齢、性別、国籍、個人の能力に関わらず、はじめからできるだけ多くの人が利用可能なように、都市や環境をデザインすること	1 5	17 40
リアルタイム 信号制御	対象交差点において、車両感知器により計測した交通量と渋滞長を基に、青時間を調整する信号制御	7	62
6次産業化	1次産業、2次産業、3次産業の各分野において、他の分野へ拡大し、または相互に連携・融合しながら付加価値を向上・創造すること	7	61

ご意見・要望の募集について

「2020年に向けた東京都の取組（素案）」に関する皆様からのご意見・要望を募集します。
いただいたご意見・要望については、十分に検討を行い本年12月末に公表する
「2020年に向けた東京都の取組」に反映させていただきます。

募集期間

平成27年11月20日（金）～12月4日（金）

提出方法

Eメール、ファックス、又は郵送のいずれかの方法でご意見をお寄せください。

Eメール S1050403@section.metro.tokyo.jp

ファックス 03(5388)1605

郵 送 〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号

問い合わせ先

東京都オリンピック・パラリンピック準備局総合調整部計画課
電話 03(5320)7809

印刷物規格表第1類
印刷番号(27)10

2020年に向けた東京都の取組（素案）

－大会後のレガシーを見据えて－

平成27年11月20日発行

編集・発行 東京都オリンピック・パラリンピック準備局
総合調整部計画課
〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号
電話 03(5320)7809 FAX 03(5388)1605
Eメール S1050403@section.metro.tokyo.jp

制作 図書印刷株式会社
〒114-0001 東京都北区東十条3-10-36
電話 03(5843)9700(代表) FAX 03(5843)9701